

震災と男女共同参画の視点による復興支援 —被災地におけるDVと対応を中心として—

本学は、東北地方の教員養成の基幹大学として、次世代の育成に力を発揮する優れた教員の養成とともに、「教育の未来と子どもたちの未来」の形成に貢献することを使命とし、震災後の教育復興にも積極的に取り組んできました。同時に本学の使命をはたす活動の中で男女共同参画を推進し、男女共同参画社会の形成を促進に寄与することも目指しています。しかし、これまで意識的に男女共同参画の視点で宮城県内の復興支援活動を見つめる機会は、あまりなかったのではないのでしょうか。

そこで今回、女性・子どもという弱者の視点から震災の復興を考えることをねらいとする講演会を企画しました。焦点を当てるのは、被災地におけるDVの問題です。県内ではなお多くの人々が仮設住宅で暮らしていますが、そのなかで大人のいら立ちは暴力となってあらわれ、女性はその被害者となる傾向にあると聞きます。このような家庭内の暴力問題は、子どもたちにも大きな影響を及ぼすものといえるでしょう。

講師の八幡悦子先生は、宮城県の事業にも協力する形で、この問題に果敢に取り組んでこられた方です。八幡先生のお話から、性差や年齢によって負の影響を受けない復興の在り方を、皆さんとともに考えたいと思います。

日時

2014年12月4日(木)

14:40～16:10

会場

宮城教育大学2号館220教室

講師

八幡悦子氏

(特定非営利活動法人ハーティ仙台代表理事、本学非常勤講師)

【講師略歴】

特定非営利活動法人ハーティ仙台代表理事、助産師。長年に渡り、小・中高等学校、大学等で性教育に携わる一方、宮城県人権指導者研修会などで講師を担当。平成25年度より本学非常勤講師。性をめぐる現代的課題や、女性の人権問題に関する、宮城県内における第一人者である。

その他

参加費・事前申込は不要です。直接会場へお越しください。

【本講演に関する問い合わせ先】

国立大学法人宮城教育大学 総務課人事係
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149
TEL 022-214-3307 FAX 022-214-3400

主催：宮城教育大学男女共同参画推進プロジェクト
共催：宮城教育大学教育復興支援センター